



日進市における高齢者の保健事業と 介護予防の一体的実施について (高齢者における低栄養予防事業)

令和4年3月14日

日進市健康福祉部地域福祉課
保険年金課



後期高齢者医療制度 ハイリスクアプローチ



(1) フレイルを予防する栄養教室

【目的】

低栄養リスク者へ低栄養に関するアプローチを行うことにより、フレイル・サルコペニアの状態を知り、栄養状態改善から介護予防・QOLの向上を目指す。

<令和3年度実績>

日程：令和3年10月・11月（支援2回） 令和4年2月（フォローアップ1回）

対象：令和2年度後期高齢者医療健診結果にて75～85歳で①～③のいずれかに該当する者

①BMI18.5以下の者

②BMI18.6以上20未満かつ質問票「半年で2～3kg体重減少」と回答

③関係機関が‘低栄養リスクに該当’で指導が必要と判断した者

参加者：計30人

会場：生活圏域にて各1カ所 計3カ所

従事者：保険年金課（保健師1～2人、事務職1人）、講師（管理栄養士1人）

健康課（管理栄養士1人）、地域福祉課（保健師1人）

地域包括支援センター（看護師または保健師1～2人）

参加率：14.2%

評価：0.6kg以上体重増加した者61.5%（評価対象26人中16人）



低栄養リスク者へのアプローチ (一般介護予防事業)



(2) 健口健食げんき教室 (栄養・口腔機能向上事業)

体脂肪率や筋肉量、骨密度、簡単な運動チェックを通じて、自身の身体について知ると共に、口腔・栄養・運動の3つの教室ブースで専門職によるミニ講座を行うもの。

「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」の一環で実施

<令和3年度実績>

企画運営：名古屋学芸大学

協力：愛知県歯科衛生士会尾張東部支部

日 程：令和4年2月24日 (木)

対 象：65歳～74歳で、令和3年度特定健診結果にて「痩せている (BMIが18.5以下)」と判定された方 等

参加者：23名

会 場：日進市民会館



高齢者における低栄養予防事業について

ポピュレーションアプローチ

様々な手法による多角的アプローチ

高齢者の集いの場等を利用した健康教育
教育ツール(コンテンツDVD)活用

後期高齢者健診案内等個別通知を
活用した個別啓発

広報「にっしん」による
フレイル・低栄養予防啓発

ハイリスクアプローチ

健康データを活用した対象者分類と実施事業について

